

公益財団法人 放送文化基金
2024年度 事業計画
(自 2024年4月1日 ~ 至 2025年3月31日)

2024年度は基幹事業である「1助成、2表彰、3支援活動」に加え、前年度に引続き設立50周年記念事業を展開する。

- 1 助成事業 予算額 7,822万円（積立金の取崩額2,000万円を含む）
従来の「人文社会・文化部門」（人文・社会科学的な調査・研究、および文化的な事業への助成）のうち文化分野を独立させて新たに「イベント事業部門」を創設する。「イベント事業部門」では放送を中心としたメディア文化の向上に資する事業、放送・インターネットを使った地域活性化事業や放送の未来を担う人材育成事業などを対象として、従来よりも幅広く助成することを目指す。
これにともない助成金の予算総額を前年度の6,000万円から1,000万円増額し、7,000万円とする。

3月の「助成金贈呈式」では、近年助成したプロジェクトの中から、視聴者の関心の高いテーマや時宜を得たテーマをとりあげ、研究報告会を行う。

- 2 表彰事業 予算額 5,008万円

視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組・配信コンテンツ、放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し、表彰を行う。

(1)放送文化基金賞

全国の民放、NHK、番組制作会社に加え、動画配信会社も対象として、広く応募を募り、表彰する。

「放送文化基金賞」の決定については、その受賞作品、受賞者、選考理由等を記者発表し、ホームページ(英語表記を含む)で公表する。

○前年度に放送・配信されたドキュメンタリー部門、ドラマ部門、エンターテインメント部門、ラジオ部門の4分野の番組・コンテンツを対象とする。

番組・配信コンテンツの表彰(最優秀賞,優秀賞,奨励賞) 計 16 本以内
個人への賞(演技賞,企画賞,演出賞等) 計 6 件以内

○個人・グループ 部門

次の2分野で主に前年度に顕著な業績を挙げた個人またはグループを対象とする。

放送文化・・・放送界に新生面を拓くなど放送文化の発展・向上に貢献した個人またはグループ 4件以内

放送技術・・・技術の開発や放送現場での工夫・考案で効果を挙げた個人またはグループ 4件以内

(2)他の賞への参加

国際コンクールである「ABU賞」(主催 アジア太平洋放送連合)および「創作テレビ・ラジオドラマ大賞」(主催 日本放送作家協会・NHK)へ参加し、優れた番組や企画、脚本にそれぞれ賞金を贈呈する。

◎ABU賞・・・優れた番組の表彰(ABU賞全体へのスポンサーとして)

◎創作テレビ・ラジオドラマ大賞・・・優れた創作脚本の表彰

3 支援活動事業(制作者フォーラム) 予算額 1,676万円

放送に携わる若手制作者の人材育成を支援する施策として、地域の制作者が組織の枠を越えて交流を図る制作者フォーラムを各地区で開催する。

今年度は北日本(青森)、北信越(富山)、愛知・岐阜・三重(名古屋)、中四国(米子)、九州・沖縄(福岡)の5地区での開催を見込んでいる。

また東京で全国制作者フォーラムを開催する。

4 設立50周年記念事業 予算額 2,000万円(全額積立金の取崩しによる)

昨年に引続き設立50周年記念事業として以下の事業を展開し、公益目的事業の充実を図るとともにイベント事業への支援に取り組む。

(1)メディア大連携 山梨・防災マルチ発信プロジェクトへの支援

(2)放送文化基金賞「50周年記念賞」の表彰と拡大贈呈式の開催

(3)阪神・淡路大震災30年 関西NHK・民放連携プロジェクトへの支援

(4)交流イベント「番組を見る会」の企画・開催